

# 夜空は新たな町の宝

## 屋上観察会が好評

南三陸 ホテル観洋 宿泊から地元客まで

南三陸町の南三陸ホテル観洋で、屋上を開放し宿泊客や地域住民に夜空を楽しんでもらう星空観察会が、定期的に開かれている。周囲に観察を妨げる光が少なく、環境省の調査で星空が見えやすい地点であることも分かった。観察会を自当てる宿泊する人がいるなど、身近な星空スポットとして認知度が少しずつ高まっている。

### ボランティニア解説付き

「スターパーティー」観察会は、2017年1月遠鏡などの光学機器を南三陸」と題した観 月にスタート。天体望 メーカー・ビクセンの



南三陸ホテル観洋で開かれているスターパーティー

協力を受け、2カ月に1度のペースで開催している。屋上に天体望遠鏡を数台セットし、仙台市や登米市から訪れる天文ボランティニアらが、星座の位置や特徴などを解説する。今月開かれた会では、宿泊客らが、望遠鏡を使って冬空を代表するオリオン座などを観察したほか、周囲が暗いところ

家族で宿泊した仙台市の菅野まさきさん(45)

は「海の近くで星がきれいに見えるのは大きな魅力。空気も澄んでいるし、南三陸の売りになるのでは」と満足していた。

観察会を企画したのは、同ホテルのインバウンド部長を務める倉橋誠司さん(55)。周囲の光が少ない屋上で見る星空が、以前からきれていたと感じており、南三陸の魅力として広めることはできないかと考えた。暗い場所を求めて山などへ出向く必要はなく、会場へは館内のエレベーターで簡単に行

ける。初心者でも気軽に星や惑星に親しめるとあって、宿泊客だけでなく、地域住民や近隣から参加する人もいるという。

昨年末に環境省が結果を公表した「夜空の明るさ調査」では、昨年8月に全国各地のポイントでデジタルカメラを使って星空を撮影したデータをもとに、星空観察に適した場所を判定。同ホテル屋上

が、一般的に天の川が見えやすい地点であることを示す高い等級だということが分かった。

### 今後月1回開催

美しい星空をさらに多くの人に知ってもらうため、今後は回数を増やして月1回のペースで開催していく。倉橋さんは「都市部の人などには特に好評。地元の人にとって当たり前である星空も、南三陸にとっての宝であり、宿泊客に限らず多くの人にその魅力を知ってもらえるよう続けていきたい」と話している。